

ほ ど 教育センター通信

火床の火の心を紡ぐ

第6号（通算67号）
令和元年 10月21日
三条市小中一貫教育推進課
教育センター 発行



10月3日（木）

市教研理科部 指導案検討会

模擬授業形式で小学校と中学校の先生方が子どもたちの視点に立ちながら、指導案を検討しました。

教職員の想いが小中一貫教育を創る

教育センター統括指導主事 土佐 和久

先日、市教研理科部の指導案検討会に参加をさせていただきました。小学校3年生理科「明かりをつけよう」の指導案について、各学園理科部代表の先生方10名での検討が行われました。

「導入でのブラックボックスの提示は、子どもたちの問題意識を高めるものでとてもよいと思います。」

「今回の授業の指導内容は、実は中学生もよく分かっていない生徒がいるので、とても価値あるものだと思います。」

「スイッチの原理にもつながっていく内容なので、そのことにも気付かせたいですね。日常生活に結び付けて理解させることがとても大切だと思います。」

「〇〇の教材はどうですか。子どもにとっての学びがより深まると思います。」

時には笑いも起こる和やかな雰囲気の中で、授業を提案される先生の指導プランを認め、価値付けながら、「子どもたちにとってより深い学びにつながるにはどうしたらよいか」を、子どもたちの視点と9年間の学びのつながりの視点に立ちながら、参加した先生方全員が主体的・建設的に考えておられました。その結果として、新たな授業プランの方向付けがされたすばらしい検討会となりました。私にとっても多くのことを学ばせていただいた研修の場でした。

「子どもたちにとってもっと分かる授業がしたい」「教師としてもっと高まりたい」そんな想いをもった小中学校の先生方がつながり、議論することで、新たな指導プランや新たな価値が生まれるという体験を、私は三条市でたくさんさせていただいています。

小中一貫教育という制度だけがあっても決して子どもたちは育ちません。子どもへの愛情と向上心をもった小中学校の先生方同士がつながることで、先生方の力量が高まり、その結果として子どもたちが育っていくのです。小中一貫教育を創るのは私たち教職員の想いです。

各 学 園 の 取 組

三条学園



10月10日（木）

いじめ見逃しゼロスクール集会で、代表児童生徒によるパネルディスカッションや、グループ交流活動などを行いました。児童生徒から「いじめは通信機器でも起こることがよく分かった」「トラブルを起こさないように、巻き込まれないように気をつけたい」などの感想が出され、充実した会となりました。

四つ葉学園



9月24日（火）

旭小学校での音楽の乗り入れ授業です。親善音楽祭に向けて練習してきた合唱が完成に近づいた時期に、さらに質を上げようと子どもたちは熱心に取り組みました。授業後に行った教職員の振り返りは、今後の授業改善につながる有意義なものとなりました。

三条おおじま学園



10月9日（水）

昨年度から始まった2つの小学校合同の持久走大会です。

秋晴れの空の下、総合グラウンドで学年別を実施しました。両校の体操着は違いますが、同じ学園の仲間として互いに競い合い、精一杯の力で走り抜きました。

保護者の方からの応援が、子どもたちの力走を後押ししてくれました。

瑞穂学園



9月26日（木）

三校合同研修会の第1回は音楽の乗り入れ授業です。西鱈田小学校の5年生は「◎きれいなハーモニーを作るためには、どんな歌い方が必要か」を解決するため、中学校の先生からアドバイスをもらうことになりました。中学校の先生の登場で子どもたちの意欲が向上しました。小学校と中学校の先生の役割分担が非常によく、乗り入れの意義が見られる授業でした。

さかえ学園



さかえ学園のフラワーロード活動が行われました。大勢の地域の方々が参加していました。毎年、春には美しい水仙の花が咲き誇ります。今年は栄庁舎から大面へ続く道路に球根を植えました。春には美しい黄色の花の道ができ、地域の人々の目を楽しませることでしょう。

しただの郷学園



9月27日（金）

しただの郷学園の小学校音楽祭が行われました。市の音楽祭に出場する児童が森町小学校に集まり、音楽祭に向けて各学校の練習した合奏や歌、ダンスなどを発表しました。

どの学校も練習の成果を発揮し、堂々と発表していました。

一ノ木戸ポプラ学園



9月25日（水）

今年度2回目のリトルティーチャー活動が行われました。生活科のアサガオリースづくり、家庭科の裁縫、楽器の演奏、算数の学習の補助に中学生が大活躍をしていました。中学生の自己有用感と小学生のあこがれ意識を高める一ノ木戸ポプラ学園の核となる活動です。

大崎学園



10月9日（水）

大崎学園では、各教科部で授業研究を進めています。写真は、社会科部の授業協議会の様子です。前期課程と後期課程の先生方から、様々な視点で授業改善のためのアイデアが出されました。9年間を通して、子どもたちを育てる大切な研修の場となっています。

三条嵐南学園

関東甲信越地区小学校家庭科教育研究大会に向けて、小学校と中学校の職員が共に、子どもたちがより思考を巡らせることのできる授業となるように、指導案を検討しました。

11月1日（金）の研究大会に向けて、よりよい授業を展開しようと考え合う職員の姿が見られました。



8月6日（火）

各校からの“オーダーメイド訪問要請”をお待ちしています

教育センター指導主事 井口 浩

最近行ったオーダーメイド訪問による研修を紹介します。

森町小学校

9月19日（木）に、星先生が4年生算数「いろいろな四角形」の授業を実践しました。子どもは四角形に対角線を引くと「長さがちがう」「ただの四角形だからね」「正方形はありそう」などと言い、既習事項と関連付けながら各四角形の特徴を追究しました。授業後の協議会では、温かい学級づくりと授業づくりが子どもの意欲と対話を生んでいることや、ジグソー法を取り入れた活動のメリットとデメリットなどが話題となりました。その中で、いかに知識の定着・習熟を図るかという課題を共有することができました。



第二中学校

8月23日（金）に、道徳科の研修会を行いました。模擬授業をとおして、「考え、議論する道徳」の授業づくりについて研修する機会となりました。

第二中学校の職員の皆様が、模擬授業に対して真剣に考え、話し合っって臨む姿が印象的でした。道徳科の授業では質の高い多様な指導方法についてのイメージが提案されており、それに基づいて、現在の教科書でどのような授業を行うことができそうか提案させていただきました。道徳科は、中学校で今年度からの実施です。「考え、議論する道徳」の実践に向けて、第二中学校の職員の皆様が意欲を高める様子が伝わってきました。

下表は、9月末現在の実績です。

実施・予定の総数	小学校・学園前期	中学校・学園後期	多い学校
98回	平均4.6回	平均0.8回	月岡小18回、嵐南小11回、井栗小10回

各校からの“オーダーメイド訪問要請”をお待ちしています。

- ✧ 参加する方が少人数でもよいです（マンツーマンも歓迎）
- ✧ 短時間でもよいです。（30分程度の相談でも歓迎）